

— 中小企業共通 EDI の実証導入事例 —

豊田商工会議所 ▶ 株式会社サン・プロテック

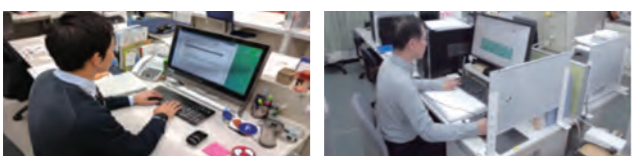
企業情報	発注側		受注側	
	企業名	所在地	企業名	所在地
	豊田商工会議所	愛知県豊田市	(株)サン・プロテック	愛知県豊田市
	—	—	印刷業	—
	従業員数	—	20名	—
	年商	—	3億円	—

EDI 導入内容

- データ伝送による発注指示（納入指示、出荷・受領実績の授受）。
- サポートアシスタントによるシステム操作のサポート。
- スマートフォンアプリによる検収業務の効率化を実現。

EDI 導入の成果

- 業務効率化及び人的ミスやコスト低減に向け EDI 導入を実施。
- EDI 導入により、検収業務の簡素化・効率化を実現。



- EDI 導入時に工夫した点①**
 - システム操作に不慣れな方でも簡単に操作でき、サポートアシスタントの活用により業務効率の向上を実現するアプリケーションを作成。
 - 国連 CEFACTメッセージに対応し、業界依存しない受発注業務が可能。
- EDI 導入時に工夫した点②**
 - スマートフォンを活用した事により、検収の手作業によるミスを低減。併せて、情報をシステム管理することで業務精度も向上。

有限会社 杉文

企業情報	発注側		受注側	
	企業名	所在地	企業名	所在地
	(有)杉文 (文具のすぎぶん)	愛知県碧南市	有限会社 杉文	愛知県碧南市
	—	—	事務機文具小売り	—
	従業員数	8 (社員5) 名	—	—
	年商	2.5億円	—	—

EDI 導入内容

- スマホ、タブレットなどモバイル機器での連携アプリによる受発注。
- 会計ソフトとのデータ連携による業務効率化。

EDI 導入の成果

- 従来の電話・FAX 注文を、スマホ（またはタブレット）で簡単注文可能に。連携アプリを使えば請求書作成も簡単。
- 「まえ取ってもらったやつ入れといて！」得意先からの注文もスマホに写真添付で簡単確認。



- 聞き取り注文 & EDI の併用**
 - これまで電話や FAX で行っていた受注や納期回答を、スマートフォンを使って簡単なボタン操作などだけで可能に。但し重要な『御用書き』（聞き取り注文）は継続し EDI と並行利用。
- 市販の会計ソフトへの入力業務が楽チンに！**
 - 納品完了後に手入力で行っていたパソコンへの手入力も、受注、納期回答データをそのまま使えるので、市販の会計ソフトとの連携で入力ミスもなくなり、手間も軽減。

株式会社 西浦化学 ▶ 株式会社 鈴木化工

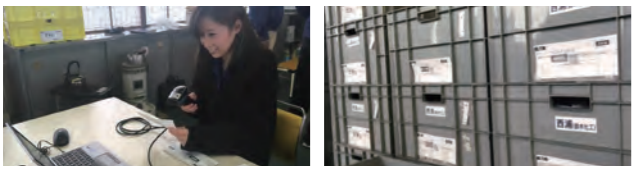
企業情報	発注側		受注側	
	企業名	所在地	企業名	所在地
	(株)西浦化学	愛知県蒲郡市	(株)鈴木化工	愛知県西尾市
	自動車部品製造業	—	プラスチック加工業	—
	従業員数	200名	4名	—
	年商	50億円	1.7億円	—

EDI 導入内容

- データ伝送による部品調達指示。（納入指示、出荷・受領実績の授受）
- 併せて、調達業務の効率化をサポートするため、「かんばん」を有効活用するアプリケーション、ハンディスキャナーの導入。

EDI 導入の成果

- 部品調達の精度向上、調達リードタイム短縮に向け EDI 導入を実施。
- EDI 導入により在庫数の低減、調達業務の簡素化・効率化を実現。



- EDI 導入時に工夫した点①**
 - システム操作に不慣れな方でも簡単に操作でき、かつ業務効率の向上を実現するアプリケーション作成。
 - 国連 CEFACT メッセージに対応し、部品調達のみではなく事務用品などの手配にも利用可能な汎用性。
- EDI 導入時に工夫した点②**
 - 発注企業のみではなく、仕入先側も合わせた業務効率化。
 - ⇒仕入先側は、受注情報をもとに、かんばん/納品書を自動作成（印刷）することで、手作業で発生していた業務工数を大きく削減。併せて、情報をシステム管理することで業務精度も向上。

伊豆技研工業株式会社

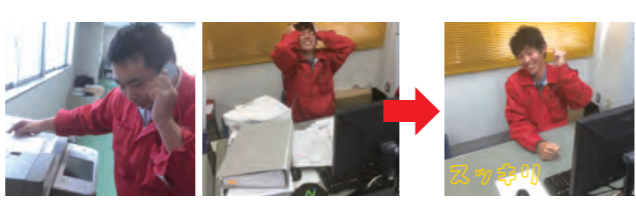
企業情報	発注側		受注側	
	企業名	所在地	企業名	所在地
	伊豆技研工業 (株)	静岡県三島市	伊豆技研工業 (株)	静岡県三島市
	電子基板等設計製造業	—	—	—
	従業員数	74名	—	—
	年商	6.7億円	—	—

EDI 導入内容

- 受発注業務を自動化するための EDI システムを導入。
- 併せてデータ化による情報の蓄積を実施。

EDI 導入の成果

- 受発注業務を自動化できるよう EDI 導入を実施。
- EDI 導入により注文書の「印刷」「FAX」「並び替え」「ファイルとし」の時間ゼロを実現。



- EDI 導入時に工夫した点①**
 - コンテナーアプリにより現在使用している帳票類のフォーマットを変更すること無く利用可能。
 - 入念なマッピングを行うことで本場に必要情報を改めて整理。
- EDI 導入時に工夫した点②**
 - 紙媒体からデータの管理に変更することで、「印刷」「FAX」「並び替え」「ファイルとし」の時間をゼロに。机もスッキリ。
 - データ化により見積・受注・発注情報の蓄積を行い、素早い分析が可能。次の戦略に活かす。

中小企業のための受発注システム

中小企業共通 EDI

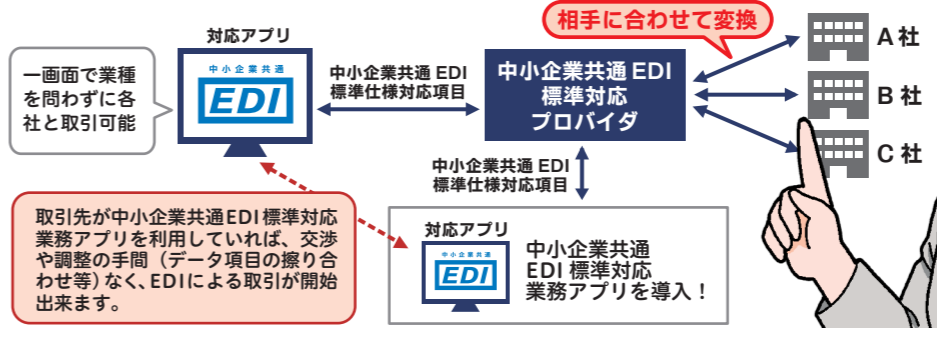
• Electronic Data Interchange •

中小企業共通 EDI

中小企業が抱える受発注業務の IT 化に係る問題を解決するために、汎用的に利用できる仕様（中小企業共通 EDI 標準）を策定しました。

中小企業共通 EDI を利用すれば、プロバイダ（通信接続業者）がデータを交換するので、取引先がそれぞれ異なる受発注仕様でも取引出来ます。

中小企業共通 EDI 標準仕様の掲載ホームページはこちら https://www.itc.or.jp/datarenkei/j_edi/firstedition.html (IT コーディネータ協会ホームページ)



中小企業共通 EDI 導入に活用可能な支援施策

1 サービス等生産性向上 IT 導入支援事業 (IT 導入補助金)

中小企業者等の生産性向上を実現するため、バックオフィス業務等の効率化や新たな顧客獲得等の付加価値向上（売上向上）に資する IT ツール（ソフトウェア、サービス等）を導入する際の経費の一部を補助します。

● IT 導入補助金事務局ホームページ <https://www.it-hojo.jp/>

2 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業

中小企業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援します。

● 地域事務局（各都道府県中央会）ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/link/link-01.htm>

3 軽減税率対策補助金

軽減税率の対象となる商品を扱っている事業者が、POS、セルフ、モバイルレジ等の買い替えや受発注システムの改修等をしたい中小企業者に対しその経費の一部を補助します。

● 軽減税率対策補助金事務局ホームページ <http://kzt-hojo.jp/>

4 中小企業活路開拓調査・実現化事業

中小企業単独では解決困難なテーマ（情報化の促進等）について、中小企業連携グループが改善・解決を図り新たな活路の開拓を目指すプロジェクトを支援します。

● 全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/hotinfo/katsuro-index.html>

5 日本政策金融公庫の特別利率による融資制度

IT を活用した事業を行う際、日本政策金融公庫の融資が受けられます。

● 日本政策金融公庫 全国各店舗 <https://www.jfc.go.jp/n/branch/index.html>

6 ミラサポ専門家派遣

よろず支援拠点や地域プラットフォームが、個々の中小企業者の経営課題に応じた専門家を派遣します。IT においては、IT を活用した経営戦略の策定から IT 導入に至るまで様々なステージの取組を専門的見地から支援します。

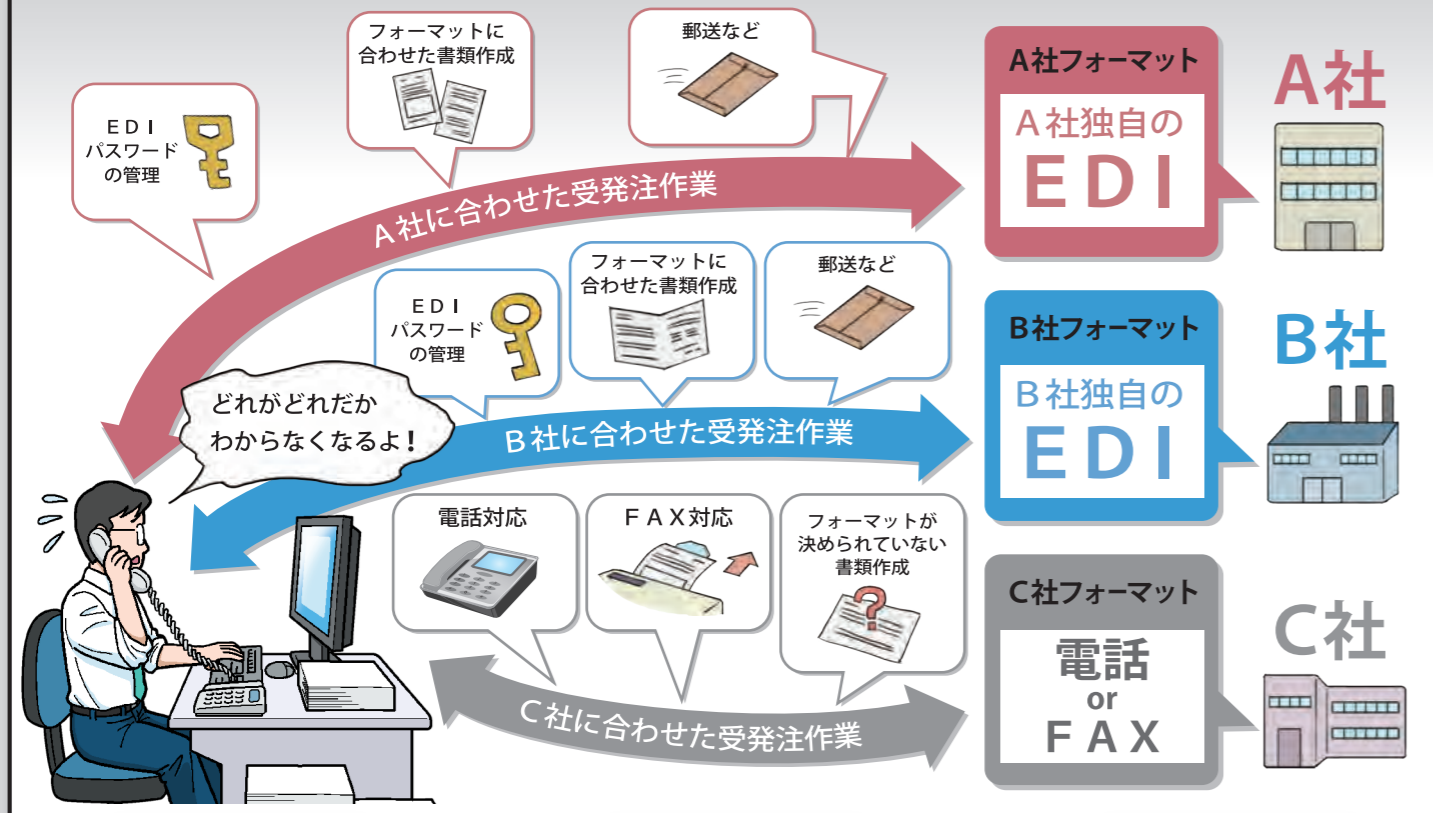
● 専門家検索ページ <https://www.mirasapo.jp/specialist/> または、「ミラサポ専門家」で検索

※掲載した事例は、「平成 28 年度経営力向上・IT 基盤整備支援事業（次世代企業間データ連携調査事業）」において、EDI 導入効果を測定するために実証導入したものです。

導入前

現在、商取引において発生する注文書、納品書、請求書等を、取引先企業毎のフォーマットに合わせて作成・送付している。

膨大な受発注作業が発生



大きなデメリット 1

受発注業務が膨大



企業ごとに異なるフォーマットの注文書や納品書の作成に手間がかかるだけでなく、郵送の手間や代金などの負担が常に発生します。

大きなデメリット 2

人的ミスが多くなる



電話の聞き取りミスや、FAXをパソコンへ入力する際のミス、計算ミスなど、取引件数が増えるほどにミスが多くなります。

大きなデメリット 3

書類の管理が大変



書類を探すのが手間な上に、保管するスペースも必要です。紙での保管は書類紛失の危険にもさらされます。

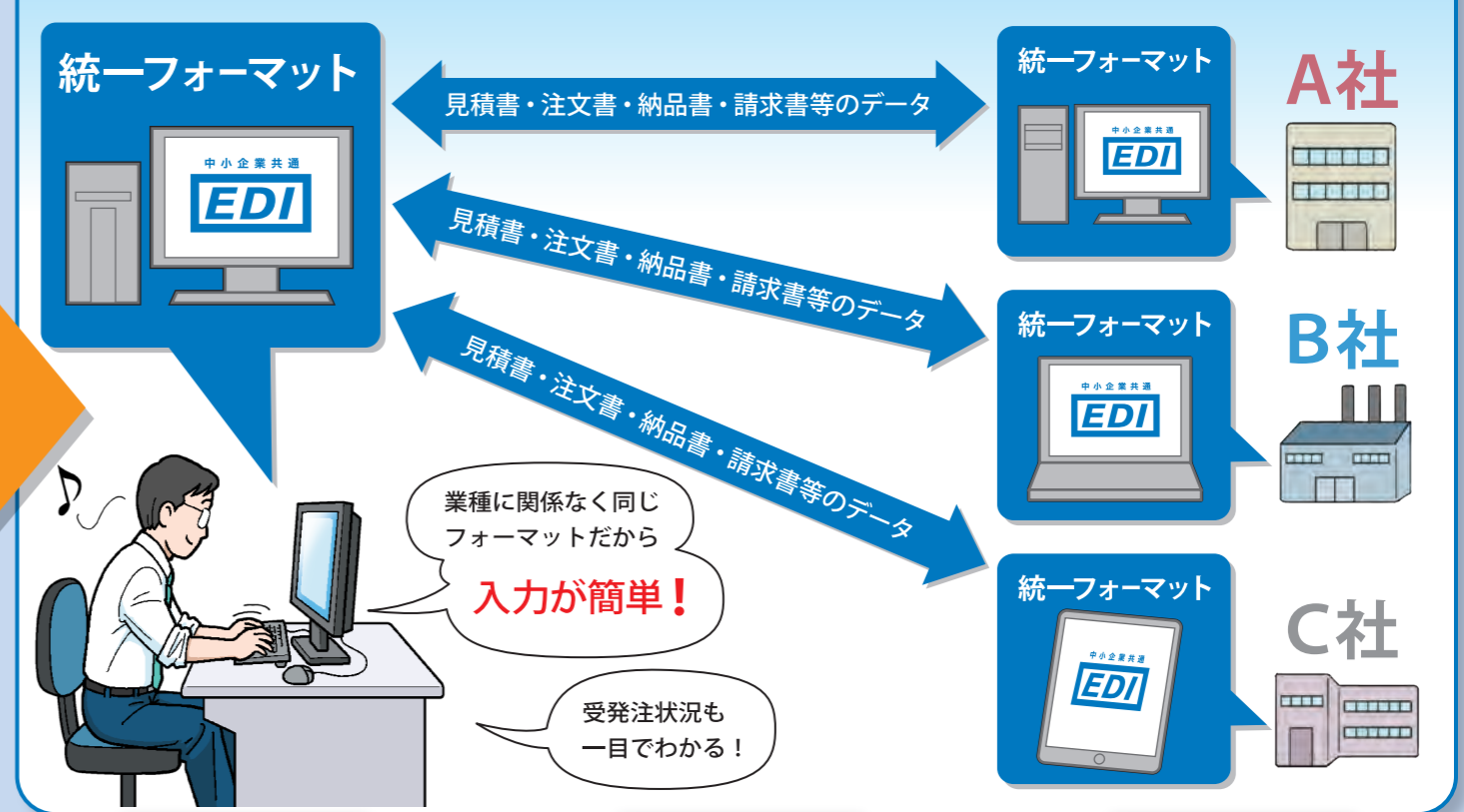
中小企業共通

EDI 導入後

ご注意!

取引先が中小企業共通EDIを導入していない場合、統一フォーマットでの受発注や、入力データを相手先に自動登録することは出来ません

入力したデータがリアルタイムで自動的に相手先へ登録



大きなメリット 1

効率UPでコスト削減



統一されたフォーマットのため、入力が簡単です。注文書や請求書などをデータ化してやりとりするため、紙の書類作成・送付・受注など一連の作業にかかる手間を大幅に軽減できます。

大きなメリット 2

人的ミスを軽減



中小企業共通EDIを利用すると、発注側が入力したデータは相手先のPCへ自動的に登録されます。登録されたデータは、納品書や請求書等の作成に流用可能なため、書類作成毎のミスを軽減することができます。

大きなメリット 3

取引の検索が簡単



書類をデータ化して保存しているため、過去現在の取引データを簡単に検索することが出来ます。

(プロバイダなどの仕様によりデータの保存期間が異なります)

なるほど、これは楽ですね



売掛金の
消込業務って、
大変ですよね？



その問題、
スマートに
解決します。



経理業務を効率化する

ZEDI (ゼディ)は、一般社団法人全国銀行資金決済ネットワークが運営する
全銀EDIシステム(Zengin EDI system)の愛称です。

いま、こんな問題でお困りではありませんか？

支払 企業

受取 企業

問題

振込先からの問合せが“ひっきりなし”

消込業務が“とにかく大変”



問合せ対応で
日が暮れる

営業に確認
したいけど
つかまらない



売掛金と入金額
が合わない

金額と一緒に
振込の内容が
わかればいいのに



ZEDIを利用すると

解決

問合せ対応の負担が“かるーく”

売掛金の消込が“ぐーんと楽に”



本来の業務に
集中できる
ようになった！



売掛金と
入金額の照合が
簡単になった！



支払企業も、受取企業も、経理業務の効率化と生産性向上が実現できます！

Q&A



Q シルクハットのキャラクターは誰ですか？

A

「Z」の帽子がトレードマークのゼディくん
です。物知りで、何でも優しく教えてくれ
ます。右手に持っているのはノートパソ
コン、左手には魔法の杖を持っています。



Q 取引先がZEDIを利用していない
場合はどうなりますか？

A

売掛金の消込の負担を軽減するには、
支払企業にZEDIを利用してもらう必要
があります。ぜひ、お取引先にもお勧め
ください。



Q 手数料はかかりますか？

A

ZEDIの利用手数料は、金融機関ごとに
設定されます。お取引金融機関にお問
合せください。



利用できる金融機関はこちら

<https://www.zengin-net.jp/zedi/>



もっと詳しく知りたい場合はWebで

<https://www.zengin-kyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>



全銀EDIシステム

検索

2018.9

振込に情報を添付できるから、 消込業務が格段にラクに！ これが、ZEDIの効果です。

ZEDIとは、企業や個人事業主が、振込に請求書番号や商品名などの情報を自由にたくさん添付できるようにするシステムです。

これにより、例えばひと月分の売上がまとめて振り込まれた場合でも、明細が一目瞭然。

売掛金の消込の負担が軽減され、経理業務の効率化と生産性向上が実現できます。

※(出所)一般財団法人流通システム開発センター
共同実証の結果報告資料(2014年12月)

**事務負担
6割減!***



支払企業



情報を添付できる!

受発注情報

請求情報

振込

受取企業

消込業務がラクに!

※商流EDIをご利用の場合は、それを添付することもできます。

ZEDIを利用するには、どうしたら？

〈現在の振込方法〉



ファームバンキング、インターネットバンキングをご利用の場合



ATM、銀行窓口、ファクシミリをご利用の場合

〈利用に必要な対応〉

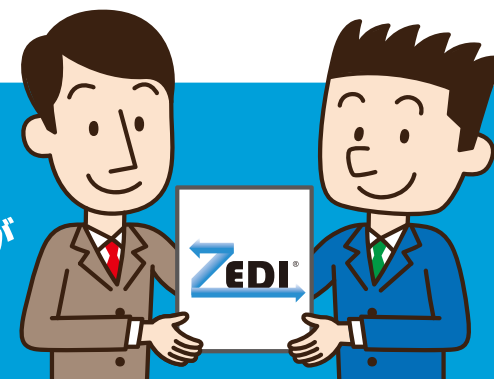
ソフトウェアのバージョンアップ等を実施

まずはファームバンキング、インターネットバンキングへの加入

ZEDIに対応したファームバンキング、インターネットバンキングがご利用可能に。

2018年12月25日提供開始

詳しくは、お取引金融機関にお問合せください。



ZEDIに対応した振込電文を簡単に作成できるツールが無料でご利用いただけます。

全国銀行資金決済ネットワークでは、Webブラウザの画面上で情報を入力し、ZEDIに対応した振込電文を簡単に作成できるツール「S-ZEDI」を無料でご提供中。

2018年12月25日提供開始



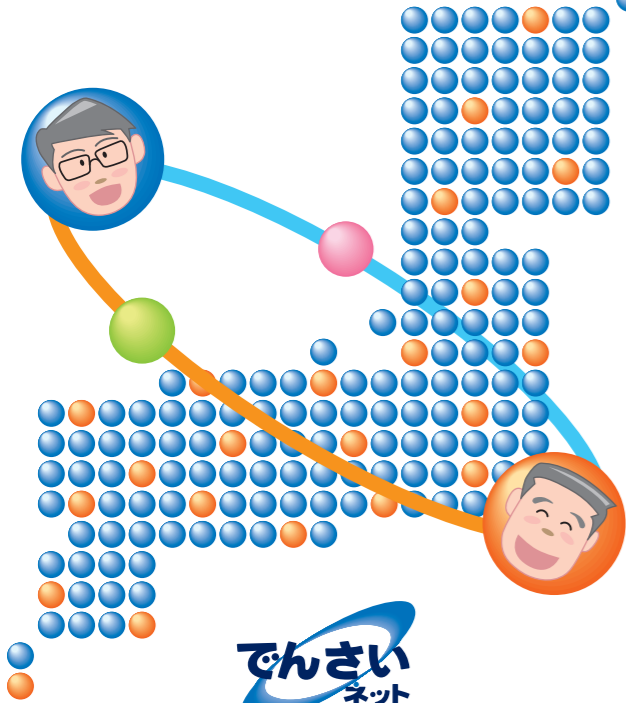
事業者のみなさま必見!

手形・振込に代わる 新たな決済手段が 誕生しました。

でんさいネットの電子記録債権

でんさい

でんさいネットは、一般社団法人全国銀行協会の100%出資により設立された電子債権記録機関「株式会社全銀電子債権ネットワーク」の通称です。



安心・便利な全国規模のネットワーク

「でんさい」は(株)全銀電子債権ネットワークの登録商標です。

こんなお悩みは ありませんか!?

支払企業では...



手形の印紙税負担を軽減したい...

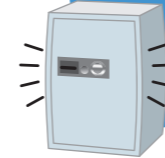
支払手段を一本化して効率化できれば...

25 26 27 28 29 30



そんな お悩み
解決し ます!

(手形の場合)



紛失や盗難が心配...
保管も面倒...

必要な分だけ譲渡や
割引ができれば便利なのに...

納入企業では...



取立手続が面倒...

(振込の場合)

入金日までの
資金繰りを
どうしよう...

21	22	23	24
28	29	30	1
支払日		入金日	



Q どこで利用できるのですか?

A: 銀行、信用金庫、信用組合等、全国の金融機関でご利用いただけます。詳しくは、でんさいネットのホームページ「参加金融機関一覧」でご確認ください。

Q 利用料はかかるのですか?

A: ご利用内容に応じて、ご利用される窓口金融機関ごとに設定されます。

Q インターネットが使えませんが、利用することはできますか?

A: お取扱い方法は窓口金融機関によって異なります。詳しくは、ご利用を検討されている金融機関にお問い合わせください。

Q 手形は無くなってしまおうのですか?

A: 決済手段の選択は、最終的には事業者のみなさまの判断に委ねられます。でんさいネットでは、ペーパーレス化社会の実現に向け、「でんさい」がこれまでの手形等による決済手段よりも使い勝手の良いものとなるよう、今後とも工夫を重ねてまいります。

Q 「でんさい」は、手形の代替機能しかないのですか?

A: 「でんさい」は、手形や振込の課題を克服した新しい金銭債権です。手形代替としての活用に限らず、振込に代わる決済手段としても期待されています。

Q 「でんさい」は、安心して受け取ることができますか?

A: でんさいネットでは、「でんさい」による円滑な信用取引を維持するため、手形の不渡処分制度と同様、「支払不能処分制度」を設けています。これにより、「でんさい」取引の安全性と健全性の確保に努めています。

株全銀電子債権ネットワーク(通称:でんさいネット)の理念
銀行の信頼・安心のネットワークを基盤として、電子記録債権を記録・流通させる新たな社会インフラを全国的規模で提供し、中小企業金融をはじめとした金融の円滑化・効率化を図ることにより、わが国経済の活性化に貢献します。

株式会社全銀電子債権ネットワーク

TEL 03-5252-3595

(受付時間は、平日 午前9時~午後5時です。)

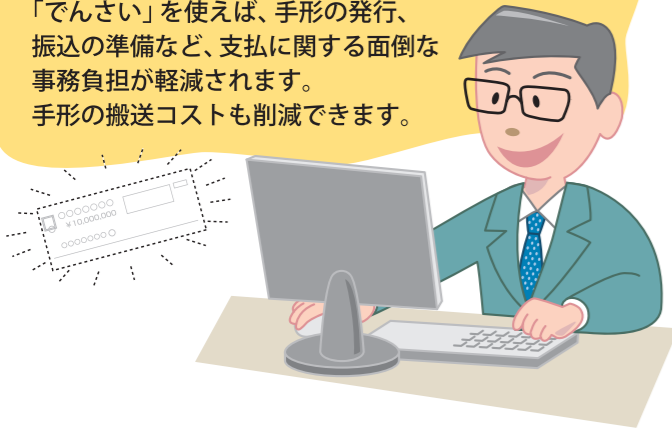
HP:<http://www.densai.net/>

「でんさい」でスッキリ解決!

支払企業では・・・

ペーパーレスだから手続がラクラク! 搬送代もかかりません!

「でんさい」を使えば、手形の発行、振込の準備など、支払に関する面倒な事務負担が軽減されます。手形の搬送コストも削減できます。



印紙税は課税されません!

手形と異なり、印紙税は課税されません。



節税

支払手段の一本化で効率的!

手形、振込、一括決済など、複数の支払手段を一本化すれば、効率化が図れます。



「でんさい」の取引イメージ

1 「でんさい」の発生

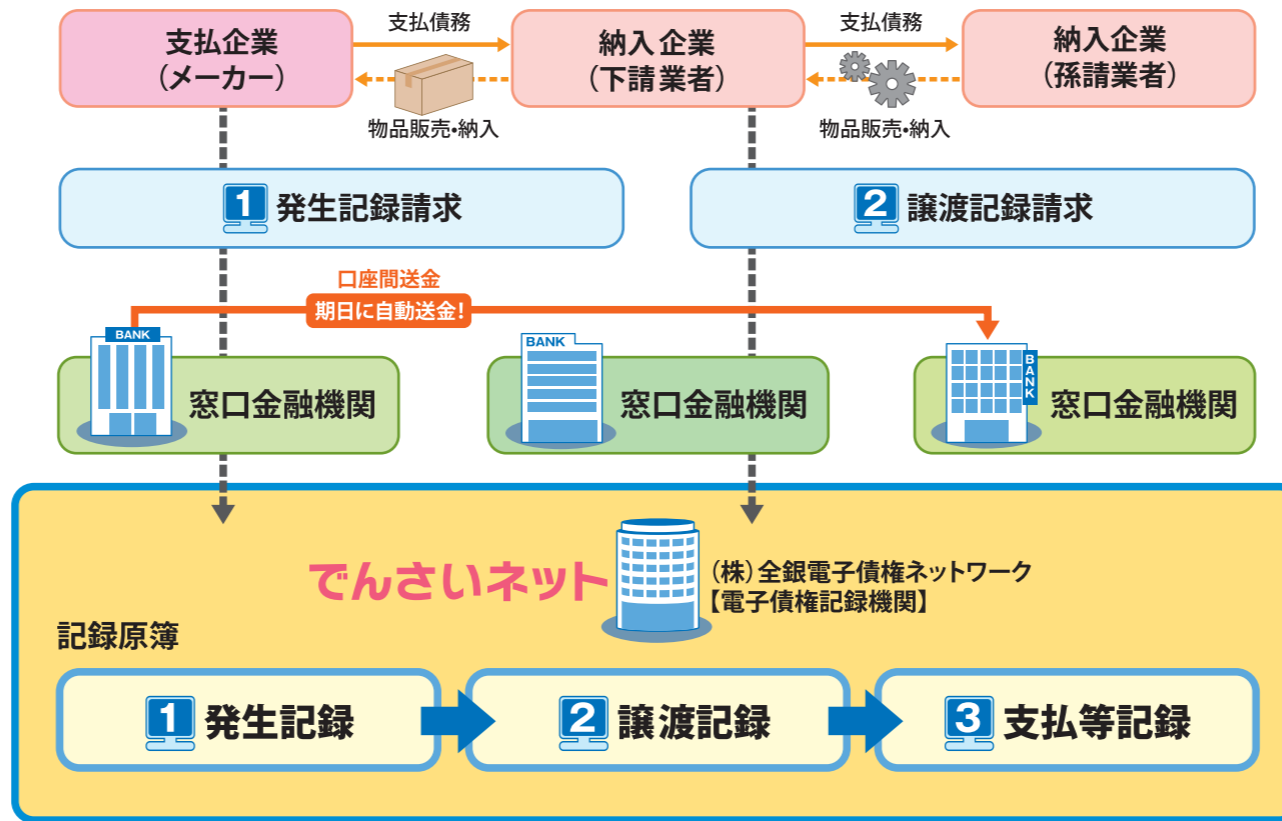
窓口金融機関を通じてでんさいネットの記録原簿に「発生記録」を行うことで、「でんさい」が発生します。

2 「でんさい」の譲渡

窓口金融機関を通じてでんさいネットの記録原簿に「譲渡記録」を行うことで、「でんさい」を譲渡できます。必要に応じて、分割して譲渡することもできます。

3 「でんさい」の支払

支払期日になると、自動的に支払企業の口座から決済資金が引き落とされ、納入企業の口座に入金されます。支払が完了した旨をでんさいネットが「支払等記録」として記録しますので、面倒な手続は一切不要です。また、手形と異なり、納入企業は支払期日当日から資金を利用することができます。



電子記録債権とは

手形債権や指名債権(売掛債権等)が抱える課題を克服し、事業者の資金調達の円滑化等を図ることを目的として創設された新たな金銭債権です。電子債権記録機関が管理する記録原簿に電子的な記録を行うことにより、債権の権利内容が確定します。

「でんさい」でスッキリ解決!

納入企業では・・・

ペーパーレスだから安心・安全! 保管も不要です!

ペーパーレス化により、紛失や盗難の心配はなくなります。嚴重に保管、管理する必要がなくなりますので、無駄な管理コストを削減することができます。



分割できます!

必要な分だけ分割して譲渡や割引をすることができます。手形にはない、「でんさい」特有の大きなメリットです。



期日になると自動入金!

支払期日になると窓口金融機関の口座に自動的に入金されますので、面倒な取立手続は不要です。



債権を有効活用!

これまで資金繰りのために利用できなかった売掛金等の債権について、決済手段を振込から「でんさい」にすれば、支払期日以前であっても簡易に譲渡や割引ができるので、資金調達に活用しやすくなります。

